

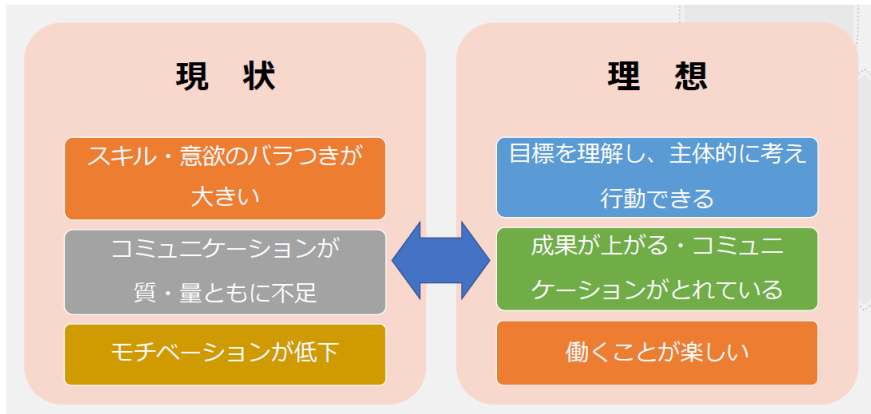
## ■チームB-1 多様なメンバーを活かすチーム作り

メンバーを自発的に動かす・得意分野や長所を見つける・活躍できる場を作るにはどうしたらよいか？

私達は、まず「在りたい姿や理想的なチーム」について話し合いました。

- ★メンバーが目標を理解し主体的に考え行動する
- ★結果、成果が上がる・コミュニケーション不足を解消
- ★働くのが「楽しいチーム」をつくる

また、所属するチームの現状と課題・理想とのギャップを整理しました。



このようなギャップを解消するために、社内コミュニケーションの活性化に取り組んでいる企業の事例を調査しました。

(企業の一例)

- ・株式会社サイバーエージェント：月イチ面談
- ・ヤフー株式会社：週1回の1 on 1 ミーティング
- ・株式会社ヤクルト本社：10年で3つの部署をジョブローテーション
- ・株式会社資生堂：若手社員が経営陣のメンターになるリバーズメンター制度  
⇒取り組みやすそうな『1 on 1 ミーティング』について深掘していくことにしました。

1 on 1 ミーティングの目的と、実際にやってみての結果

目的：部下の育成やモチベーション向上・メンバーの個性を知る・悩みや意見をきける

内容：上司にサポートして欲しいこと・仕事の悩み・社内の人間関係の問題

※プライベートから仕事に関する内容まで幅広い！

方法：月に1～4回 30分～1時間 プライベートや仕事について会話

結果：メンバーからの質問が増えた・当事者意識が高まった・笑うことが増えた

※今後も取り入れたい事項

- ・直接会って行う・部下がメインでしゃべる・マンダラートの活用

マンダラートの活用

曼荼羅(マンダラ)模様のマス目の真ん中に目標を掲げ、それを達成するために必要なことを書き込むことで、アイデアの整理や拡大を図る発想法の一つ。

まずは、上司や幹部にあたる人から実践・メンバーは個人的な目標やプライベートの内容でも記入をすることから始めて、活用していくことを取り入れたいと考えました。

このテーマを通じて、「私の次のアクション」を一人ずつ発表しました。  
以上を踏まえて、私たちの自主宣言は、【Well-being！】です。



添付資料 発表資料（PDF）

※ウェルビーイング＝身体的・精神的・社会的に全てが満たされた状態  
お互いの Well-being を気にかけることでメンバーにとって職場が快適だと感じられ、気持ちよく、楽しく働くことができるチーム作りを目指します！（文責：篠原・野間）

